



自民党・無所属 大阪府議団だより

令和3年9月定例府議会後半 ▶ 都市住宅常任委員会にて質問



須田あきら議員が

都市住宅常任委員会副委員長

令和4年6月頃～阪神高速松原線更新事業により三宅IC入口・出口と、平野IC南行入口は閉鎖され、三宅～喜連瓜破間は終日通行止！松原線一部通行不可のため、高速道路を再利用し目的地まで移動した際や、大和川線や近畿道から東大阪線などの阪神高速を迂回利用した際も、利用者に増額負担させないことを求め、回答を得る！

Profile 富田林市、大阪狭山市及び南河内郡選出

大阪桐蔭高等学校卒／神戸大学法学部卒／衆議院議員竹本直一公設秘書／大阪狭山市議会議員／自民党・無所属大阪府議団副政調会長／自民党大阪府連青年局幹事長／関西若手議員の会／青年会議所シニアクラブ年度幹事

阪神高速14号松原線 (喜連瓜破) 大規模更新事業



架け替え工事の施工方法について

Q 須田議員 南河内～大阪市内の主要ルートである阪神高速松原線は、開通から40年以上が経過し、喜連瓜破の橋の中央付近が垂れ下がり橋梁架け替えが行われる。沿道や周辺に多大な影響が予想されるため「阪神高速14号松原線大規模更新工事喜連瓜破付近橋梁架け替え工事に関する実施検討会」を本年4月に設置し、施工方法などが検討されているが工事はどのように行うのか。

A 道路整備課長 通行止めを行い、上下線一括で撤去・更新する案で検討中。この案は通行止め期間が3年を要するものの、10年以上にわたり片側通行を行いつつ更新するなどの他の2案より、優位と示された。

通行止めに伴う渋滞や利用料金などへの対策

Q 須田議員 令和4年度6月頃から約3年間の通行止めが想定されているが、利用者への影響は大変大きい。南河内から大阪市内に向かう場合、通行止めになると近畿自動車道や阪神高速大和川線への迂回が必要となり、迂回路での渋滞対策や利用料金の据え置きは必須。通行止め区間付近の三宅ICや大堀ICにて松原線を利用する際、一般道を通して喜連瓜破ICや駒川ICとの間で迂回が必要で影響も懸念される。渋滞や料金対策は。

A 道路整備課長 一般道への交通影響の抑制対策が重要であり、阪神高速道路(株)が高速道路への迂回を促す対策など詳細な検討を行う。松原線通過交通に対しては大和川線での迂回が可能のため、迂回時の料金が松原線利用時の料金を上回らないようにし、高速道路利用の迂回を促す。松原線発着の交通に対しては一般道への迂回となるため、迂回路の案内や交差点改良、信号調整などの対策を行う。

須田議員の要望 分散対策を行い、利便性を損なわない料金体系を強く要望する

三宅IC喜連瓜破IC間通行止めがもたらす影響は、松原、南河内の住民のみならず計り知れない。約3年というのは南河内にとって経済活動の停滞を意味し、また三宅ICに至る、国道309号も渋滞は酷く、さらに大型商業施設が三宅西ICすぐの立地でオープン、令和4年秋頃には309号沿いの美原区に人気大型施設も開業する。高速に再度乗った際も利用料金が上乗せされぬよう、また大和川線への迂回に加え、大和川線鉄砲ICと堺線住ノ江ICでの乗り継ぎ割引を行うなどあらゆる分散対策を行い、利便性を損なわないよう求める。

泉北ニュータウンと狭山ニュータウンの活性化策



Q 須田議員 近畿大学病院等移転に伴う泉ヶ丘駅前地域の活性化策と移転に伴う渋滞等の課題について。

A 戦略拠点開発課長 三原台1丁交差点改良工事に加え新病院敷地内での滞留長の確保による渋滞対策を行う。また既存バスルートの維持・再編については、広域的視点から拠点となる泉ヶ丘駅前地域の活性化とともに、それぞれの地域特性を活かした施設の配置を行い、それらをつなぐ方策の検討を進めるなど、泉北及び狭山ニュータウンの一体的なまちづくりに取り組む。

大阪狭山市駅をはじめとする無人駅問題



Q 須田議員 跨線橋や地下道もなく、駅そばの踏切は小学生の通学路にもなっている市役所の最寄り駅で、利用者数が1万人近くあっても無人化されている。無人駅全般への府の対応、ホーム柵などの安全対策を伺う。

A 交通計画課長 府から鉄道事業者へ「駅係員の配置が望ましい」と働きかけを行うとともに、情報を文字や音声で、障がい者にも分かりやすく発信するシステムの導入などデジタル技術を活用した安全対策などの検討を行う。また、AIカメラで蛇行している方や白杖・車椅子利用者を検知するシステムなど、新たな技術の開発や実用化を進めており、転落事故を防ぐため駅利用者からの声かけも促進されるよう、啓発カードを配布している。府、大阪市、堺市と鉄道事業者で駅ホームにおける安全性向上策をハード対策とソフト対策両面から取り組む。

他の質問事項

- 今後、高齢単独世帯の割合は増加しその半数近くが独居老人と見込まれている中、府は30年後の公的賃貸住宅の戸数を現時点から約2割、府営住宅の戸数は約3割縮減することについて
- 自宅を担保に生活資金などを融資するリバースモーゲージの活用について
- 建設業界における人材確保策と発注者としての府の取組みについて
- 道路や河川などの維持管理を市町村が連携実施していくことが重要であり、「地域維持管理連携プラットフォーム」を生かした市町村支援の今後の方針について
- 19ある府営公園全体の魅力向上のため民間のノウハウと投資をさらに引き出す施策について
- 府所有の小規模な未利用土地について早期の利活用が可能となるよう、測量等調査のための予算措置や必要な手続きを
- 国道371号石仏バイパス(河内長野市～和歌山県橋本市)の進捗と現在の取組み

他に行った質問項目の詳細はこちらをご覧ください

